

平成24年度 NPO事業 事業報告総括表

NPO事業

期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日

特定非営利活動法人 古川学人

部門	個別事業	実施時期等	人数	事業実施内容・状況等
N P O	たからびと 大崎の「宝」＝「人」 プロジェクト  (宮城県採択「新しい公共 の場づくりのためのモデル 事業」)			大崎の未来を担う人材育成の事業として実施。地域間・世代間交流を促進し、人的ネットワークの形成と実現を目指すプロジェクトに参加。
		4月21日 6月17日 7月29日	176	【オピニオン部門】 ・講演会「新しい公共と民主シー」 千葉真氏(国際基督教大学教養学部教授) 参加134名 ・ディスカッションワークショップ「震災の報道」 松田佐世子氏(河北新報社 大崎支局記者) 参加22名 ・講義「震災ドキュメンタリーの制作現場より」 大野太輔氏(NHK仙台) 参加20名
		9月16日 9月23日 9月30日 10月7日	37	【アーティスト部門】 ・コミュニケーションワークショップ 石川裕人氏(劇団オクトパス) 絵永けい氏(劇団オクトパス)  全4回 1回目「コミュニケーション力を高める」9名 2回目「稽古」10名 3回目「反射神経トレーニング」9名 4回目「コミュニケーション」9名
		6月30日 7月15日 9月29日 10月14日 1月19日 1月26日	291	【エコロジスト部門】 ・講義「再生可能バイオマスエネルギー」 中井裕氏(東北大学農学部教授) 参加19名 ・講義「大崎市の持続可能なまちづくり」 丸田雅博氏(大崎市産業経済部長)15名 ・東北大学PICS公開セミナー「良いコンポストって、なに？」19名  ・ワークショップ「田んぼで学ぶ」 参加19名  ・講演会「葉祥明の世界」 葉祥明氏(絵本作家) 参加150名 ・講演会「中国における震災報道と日本イメージ」 郭連友氏(北京外国語大学 日本学研究センター副センター長) 参加69名
	個人会員 拡大事業	通年	2	新会員2名が加入しました。 ・若見正幸様、鉄本由美様  平成25年3月31日現在では24名の会員数。
NPO事業 合計		-	506	

平成24年度 吉野作造記念館指定管理事業 事業報告総括表

顕彰型事業

特定非営利活動法人 古川学人

部門	事業名	実施時期等	人数	事業実施内容・状況等
顕彰型事業	企画展 末は博士か大臣か 兄・作造と弟・信次	5/27～7/29 初日にオープニング セレモニー実施。	700	内容：戦前・戦後を通じて、中小企業の育成や労使の協調に尽力し、日本の経済成長の礎を築いた吉野信次。兄・吉野作造とともに「豊かな社会」の実現を目指した吉野信次の業績や人間像を貴重な資料によって紹介。 共催：(独)経済産業研究所 企画展協賛：東北電力㈱ 後援：東北経済産業局、大崎市、大崎市教育委員会 入館者：700名(5月88名、6月263名、7月302名)
	企画展 「知の普及と出版 -吉野作造と ユニバーシティ・ エクステンション」	11/18～2/11	1,056	近代以前の大崎地方の教育の伝統や近代以降にそれぞれの時代のオピニオンリーダーとして活躍した福澤諭吉・吉野作造・丸山眞実らに焦点をあてた展示。 記念講演会：11/18 竹中英俊氏講演会(東京大学出版会) 入館者：491名(11月18日～12月28日) 565名(1月4日～2月11日)
	講座 「東アジアという外からの 視点で日本をみる 明治・大正を振り返り 今と未来を考える」	5/12、5/19、 5/26、6/2、 6/9、6/16 (全6回講座)	93	講 師：田中昌亮氏 (前吉野作造記念館 館長) 参加者数：93名
	吉野作造記念館 所蔵資料目録発行	-	-	主な掲載内容 Ⅰ 吉野作造関係 遺品 Ⅱ 吉野作造の直筆資料 Ⅲ 吉野作造刊行著作 Ⅳ 吉野作造以外の関係者資料・書画 Ⅴ 吉野作造記念館所蔵書籍 全9,091点を掲載した目録
	第3回 吉野作造研究賞 論文募集事業 (H24～H25年度の 2年間事業)	7月～公募	-	吉野作造が後進の育成に終生取り組んでいたことに鑑みて、若手研究者の優れた研究活動を支援するために「吉野作造研究賞」を設け公募。 応募資格：2012年4月1日時点で40歳以下の著者によるもので、政治史・政治思想史等を主題とし、未発表であるか、または2010年4月1日から2012年3月31日までに刊行された著作または研究論文を対象。他薦も可。 2012年7月末日 募集締め切り(2作品応募) 2012年12月末日 審査、結果通知 【最優秀賞】 趙星銀氏 「「高度成長」反対—藤田省三と「一九六〇年」以後の時代—」 『思想』2012年2月号掲載論文 【優秀賞】 佐藤 太久磨氏 「「国際民主主義」から「東洋モンロー主義」へ —吉野作造の国際政治思想—」 『ヒストリア』2010年6月号掲載論文 2013年3月 『吉野作造研究』第9号刊行
	吉野作造研究 第9号発行	-	-	主な掲載内容 新しい公共と熟議デモクラシー—吉野作造に学ぶ— 千葉眞(国際基督教大学教授) 政党内閣制と吉野作造—デモクラシーをささえるもの— 村井良太(駒澤大学法学部准教授) 幕末における共和制・大統領制・民主政治の理解 大川真(当館副館長) 佐渡島の二人の政治家と敗戦後日本—有田八郎と北吟吉— 竹内洋(関西大学名誉教授) 吉野作造のハイデルベルクでの下宿先 竹中英俊(東京大学出版会) 吉野信次の思想形成—旧制第一高等学校時代を中心に— 小嶋翔(当館職員) 吉野信次の商工政策—政策思想の連続性と非連続性— 石澤理如(当館職員) 会報(第3回吉野作造研究賞・投稿規程)
	資料収集・保存・登録	通年	-	大崎市へ当館の貴重な資料を文化財登録するため申請済み。 「孫文の額」の劣化が著しいため修復。 吉野作造に関する資料調査・収集。
	顕彰型事業 参加者計			1,849 (A)

平成24年度 吉野作造記念館指定管理事業 事業報告総括表

発信型事業

期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日

特定非営利活動法人 古川学人

部門	事業名	実施時期等	人数	事業実施内容・状況等
発信型事業	学校・団体関係 小・中学校出への 出前講座	通年	330	主な出張講演:大崎市立古川中学校3年生、東北電力(株) 東京都立総合工科高等学校、いきいき学園大崎校
	吉野ネットワーク 交流事業 人材育成研修会 (第6回)  テーマ 「デモクラシーを支えるもの」	8/31～9/2 (合宿研修会)	48	講演会「政党内閣制と吉野作造」 村井良太氏 講義「幕末における共和制・大統領制・民主政治の理解」 大川真(当館副館長) 講義「デモクラシーをどう擁護するのか?」猪木武徳氏 成果報告会・全体討論会 講師:7名(猪木武徳氏、阿川尚之氏、苅部直氏、清水唯一朗氏、 小川原正道氏、村井良太氏、手嶋泰伸氏。) 参加学生:18名(慶應義塾大学、東北大学) 一般聴講者:21名(8/31)、9名(9/2)
	読売・吉野作造賞 受賞者講演会	7/10 (贈賞式)  12/2 (記念講演)	56	受賞者 竹内 洋 氏(関西大学東京センター長) 受賞作 「革新幻想の戦後史」(中央公論新社) 贈賞式 7月10日、東京・丸の内パレスホテル東京 記念講演会 12月2日14時～ 吉野作造記念館研修室 演 題 「佐渡島の二人の政治家と敗戦後日本 -有田八郎と北吟吉-
	『記念館だより』発刊 (第20号)	-	-	全22ページ1,000部印刷。 掲載内容 (史料紹介、25年度事業紹介、 第6回吉野ネットワーク交流事業、 平成24年度事業報告、 出張講演報告、大崎の「宝」=「人」プロジェクト、 団体見学・出前講座、研修報告、 平成24年度イベント報告、寄贈資料一覧)
	インターネット 活用システム整備	通年	-	年間を通じての事業情報の告知・報告 記念館だよりをPDF化し公開。 過去の事業をアーカイブ化し公開。 いつでも過去の事業を見れる環境を整えました。
発信型事業 参加者計			434	(B)

平成24年度 吉野作造記念館 事業報告総括表

活用型事業

期間 平成24年4月1日～平成25年3月31日

特定非営利活動法人 古川学人

部門	事業名	実施時期等	人数	事業実施内容・状況等
活用型事業	GWイベント	5/5	737	事業内容 ①おたのしみ劇場 (チンプイさんのマジックショー、寸劇「マコロンの不思議な部屋」、古川黎明中学校・高校コーラス部コンサート) ②むかしの遊びコーナー(輪投げ、新聞紙かぶと作り、紙ヒコーキ飛ばし) ③エコバッグづくり ④大きなこいのぼり作り ⑤フリーマーケット ⑥自転車安全教室(株ビルワーク様とのタイアップ企画) ボランティア協力:宮城誠真短期大学
	花火大会 タイアップ企画	8/2	500	目的 ふるかわ花火大会の夜に、市民に「憩いの場」を提供するとともに吉野博士をPRする。 内容 大崎市の写真壁面上映、当館ライトアップ、飲食物の提供 人数 休憩ラウンジと当館前広場での事業のため入館者としては無し。
	エブリーおおさき タイアップ企画	8/11	410	ステージ発表・フリーマーケット・屋台などのファミリー向け事業を開催。
	クリスマス会	12/16	282	①マコロンとカイカイのピックリスマス(寸劇と宮城誠真短期大学による音楽コンサート) ②リース作り ③サンタさんへの手紙 ④アニメ上映
	1/29吉野博士誕生日 &開館記念イベント	1/29	60	吉野博士生誕135年、開館18年記念事業 ①音楽コンサート ②朗読 ③映画上映
	グッズ企画	10月より販売	-	①販売品の企画(3種類のポストカード制作し販売。) ②ノベルティグッズの企画
	館内サービス向上	通年	-	①通年のアンケート実施(ホームページにて情報公開) ②学習ルーム設置(個人の研究・学習の場提供)
	YOSHINO サポーターの募集 (広告協賛)	通年	21	吉野作造記念館を応援したいという企業様を募集し、特典とし広告掲載をする事業。 申込実績 Aコース 50,000円×10社の実績 Bコース 30,000円×11社の実績
その他(共催等事業)	美術展 「ひと×つくる=展」	9/6～10/21	670	主催 ひと×つくる=展 実行委員会 共催 吉野作造記念館 内容 大崎市古川出身の造形作家・姉齒公也氏を中心とした作家のネットワーク。今回の展示は、モノやコトを作ることが好きで集まった作家たちの美術展を開催。
	大崎市平和事業 第4回「平和アニメ上映会」 「平和のための企画展」	8/22～8/26	138	主催 大崎市 共催 大崎市教育委員会、吉野作造記念館 内容 企画展、絵本の読み聞かせ、アニメ上映 人数 138名
活用型事業 参加者計			-	2,818 (C)
事業参加者合計			-	5,101 入館者とは一致しません。 (A)+(B)+(C)